

# SA・ネット大阪ニュース 第13号

発行 NPO法人シルバーアドバイザー・ネット大阪 <http://sanetosaka.web.infoseek.co.jp>

連絡事務所 〒540-0006 大阪市中央区法円坂 1-1-35 大阪市教育会館

NPO 法人大阪府高齢者大学校内 TEL・FAX 06-6947-8300

## ◆◆ 第5回 アクティブシニアフェア開催への参加 ◆◆

第5回アクティブシニアフェアが、2月25日（土）大阪市教育会館にて開催され、1500名を超える来場者があり各会場は人並みで埋まる大盛況でした。3階では「NPOプラザ」、「出前プラザ」、「ホット教室」、「健康プラザ」、「建築プラザ」、5階では「子どもプラザ」、7階では「にぎわいプラザ」、「演芸プラザ」、「産地プラザ」の各特設会場とブースがあり、69団体もの展示・出展がありました。

特に、福島県・宮城県・岩手県の東北3県の復興支援の物産即売会があり、福島県の物産は完売となる盛況でした。

又、今年は演芸プラザへの参加者が多く、3ヶ所の会場に分かれて33団体が日頃練習の成果を発表し、それぞれ素晴らしい内容での演技披露となりました。

SA・ネット大阪も「子どもプラザ」と「NPOコーナー」に出展して、各事業部の活動状況のPR活動をしました。

「子どもプラザ」では「伝承おもちゃづくり府民塾事業部」が、伝承おもちゃの展示と体験コーナーを設けて、大勢の子ども達で賑わっていました。

「NPOコーナー」では「おもしろ算数教室事業部」も体験コーナーを設けて「パズル」の体験をしてもらいました。「国際交流活動事業部」では「国際交流サロン」や「海外交流活動」の写真によるパネル展示を行いました。

尚、関連団体の「高大」、「大阪府SA連協」、「高大同窓会連協」、「ふれあいサポート」もそれぞれコーナーとブースで出展と出品をしていました。恒例のSAグループ「いきいき歌体操」が、「演芸プラザ3」の会場での最終演目の「とり」としての出演がありました。



[伝承おもちゃづくりコーナー]



[国際交流事業]と[おもしろ算数教室]

## ◆◆ 社会福祉事業部 ◆◆

報告者 三田 進一

## 社会福祉事業部 活動報告（平成23年度下半期）

前号で、国際障害者交流センター（通称ビッグ・アイ）で福祉用具説明員ボランティアを開始したとご報告しました。

ビッグ・アイ（堺市南区茶山台 1-8-1）は、全館全体が障害者も利用しやすいように設計され、宿泊施設、研修施設、展示スペースも完備し府下随一の施設で、現在「ビッグ・アイ機構」が運営しています。

同機構は、将来的に障がい者を含め観光客に国際的なイベント、会議等の利用が期待される他、「関空」経由で来日し、京阪神方面に向かう観光客に、ビッグ・アイを宿泊施設の拠点として利用して欲しいとの考えもあり、展示スペースでの介護用具説明だけでなく館内全体の説明要員を養成したいと考えています。

今回の説明員ボランティア活動は、その一環としてスタートしたもので、当初8月は、慣れないこともあり、戸惑いもあったようですが、現場職員の丁寧な指導もあり、また説明員の努力もあって、9月以降は、開館日には途切れることなく説明ボランティアを続けています。

現在登録メンバーは24名。過去の実績を見ると、営業日は全日勤務、実働14~15名が、予め勤務日を登録し、幹事役の方が纏めて頂いています。

説明員の体調不良による間際のキャンセルもなく、月初の予定表通りスムーズに消化されています。

今後、どう展開していくのか、ビッグ・アイ側や、説明員ボランティア側とも意思統一を図り、良い方向に進めていきたいと考えています。

国際障害者交流センター（通称ビッグ・アイ）  
「バリアフリープラザ」＜福祉用具の展示コーナー＞

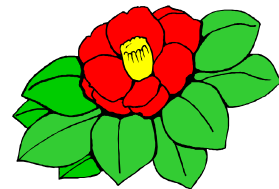


◆ ◆ おもしろ算数教室事業部 ◆ ◆

報告者 二葉 登代子

《 算数パズルを楽しもう 》

パズルを解いたときの快感 存分に楽しもう！  
子どもには考える力を養い、高齢者には脳の活性化を図る



《 活動報告 》

1. 出前講座

① 2月25日（土） 守口市 守口第1地域包括センター

【感想】 雨のため予定より参加者が少なかったそうですが、スタッフ6名も含めて、算数パズルを、存分に楽しんでいました。

2. パズル体験等

① 1月29日（日） ぷらら天満 パズル体験（参加者数は11名）

【感想】 予定していたより参加者数は少なかったが、子どもが玩具作りをする間に、お父さんやお母さんにパズルを勧めると、真剣に取り組んでおられました。幼稚園児が親御さんに教えてもらいながら頑張っているのが嬉しかったです。

② 2月25日（土） アクティブシニアフェア 出展・パズル体験

【感想】 参加者は、25名位で、大人ばかり、興味を持った方が多く来られて、体験を楽しんでいただきました。特に目立ったのは、男性の参加が多かったことです。

《 活動予定 》

1. 出前講座

① 3月8日（木） 柏原市 柏原市立老人福祉センター（やすらぎの園）

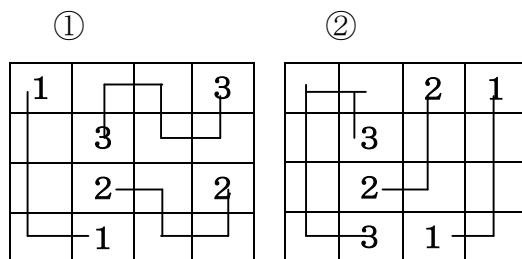
② 3月15日（木） 守口市

2. おもしろ算数教室サポーター会（4月）



[アクティブシニアフェアでの活動風景]

★パズル：前回の答



★パズル：今回は休み



## ◆ ◆ 伝承おもちゃづくり府民塾事業部 ◆ ◆

報告者 三田 進一

## 平成23年下半期 活動実績一覧(単位:人)

活動日	曜	イベント名	会 場	SA 参加 者数	来場者数 (内こども)	おも しろ 算数	国際 交流
10/8,9	土日	秋の古本市	四天王寺	延 15	延 80(70)	○	
10/27	木	留学生との交流	エール学園	7	22		○
10/29	土	留学生との交流	大阪日本語教育センター	7	22		○
11/2	水	留学生との交流	エール学園	7	10		○
11/13	日	ろうきん祭り	ろうきん本店	9	700(500)		
1/29	日	ぷらら天満冬の キャンプ報告会	ぷらら天満	8	30(30)	○	
2/25	土	アクティブ シニアフェア	大阪市教育会館	6	60(15)		
計		8回	延 9日	59	924(615)		

- ◆ 下半期は、全体では上半期に比べて活動が低調だった。
- ◆ ただし、懸案のエール学園、大阪日本語教育センターでの国際交流イベントが開催でき、それぞれ成果を挙げることが出来た。
- ◆ ろうきん祭りは、今回も受講生と共に出店、SAが参加したバルーン、紙ヒコーキ共好評だった。
- ◆ アクティブシニアフェアは、子どもの来場は少なかったが、全体に賑わった。



留学生との交流(大阪日本語研修センターにて)

## ◆ ◆ 国際交流事業部 ◆ ◆

報告者 大川 正彦

## ◇活動報告 (2011.10～2012.1月)

タイトル	開催日	場所	内容
第14回国際交流サロン ネパール報告	2011.10.1.	千里中央「コラボ」	JICA 海外シニアボランティア 馬場喜代志講師ネパール報告
第15回国際交流サロン 英語がもっと楽しくなる	2011.11.13.	大阪市教育会館 NPO 高大	楽しい英語 レヴィ、デュエイン講師
第16回国際交流サロン 「おもちゃ」とコラボ	2011.10.27.	エール学園	留学生との「おもちゃづくり」 を介して交流。(日本の暮らし)
第17回国際交流サロン 「おもちゃ」とコラボ	2011.10.29.	大阪日本語教育セ ンター	留学生との「おもちゃづくり」 を介して交流。(新人対象)
第18回国際交流サロン 「おもちゃ」とコラボ	2011.11.2.	エール学園	留学生との「おもちゃづくり」 を介して交流。(日本の文化)

## ◇活動報告の反省成果 (2011.10～2012.1月)

- ・サロン14回、15回は従来よりも視点を変えた講演でアンケートにも見られる様に好評であった、  
アンケート事例下記  
事例14回・ご苦労も多く短期間で、これ程改革されたものだと尊敬の念を深めました。  
事例15回・カタカナの言葉が外国人には難しい事(意味)が分かり、びっくりしました。
- ・サロン16回17回18回は新しい試みでおもちゃ作りを介しての国際交流も、良い事例だと分かった。  
また助成金対象事業としておもちゃづくり府民塾事業部とのコラボも、初めての試みであったが継続をしてみたい。
- ・各企画についてNPO大阪府高齢者大学校からの参加者も多く、重点対策が必要。

## ◇活動計画 (2012.2月～2012.3月)

タイトル	開催日	場所	内容
第19回国際交流サロン 英語落語	2012.3.11.	大阪日本語 教育センター	おふく 寄席による英語落語

## ◇活動計画課題 (2012.3月～来期)

- ・今期初めての試みのおもちゃづくり府民塾事業部とのコラボを来期も計画する。
- ・国際サロンとして基本テーマを常設するも反面新しい視点での講演もチャレンジを行う。
- ・エール学園 大阪日本語教育センター等とは新入生が入るので時期を考慮して提案する。
- ・活動最大課題の運営費の確保の為実績を積み各種助成金を得る様努力する。



## ◆ ◆ 企 画 部 ◆ ◆

報告者 奥谷 英夫

平成23年度の活動方針の進捗状況を報告致します。

- 1) 大阪アクティブシニア協会との協働活動については、2月25日(土)開催の第5回アクティブシニアフェアでのパネル展示の活動に終わり、組織を挙げての活動は次年度に持越しとなりました。
- 2) 昨年の3月末で廃止された「大阪府介護情報・研修センター」に代わる施設を運営・管理する団体の応募に際しては、大阪府看護協会と組みましたが契約できませんでした。
- 3) 泉北泉ヶ丘駅前のビッグ・アイ共働機構の中心団体「国際障害者交流センター」1階にあります施設内での福祉用具説明サポート事業は、SA堺の会員を中心に運営にあたっています。
- 4) 中国・大連市老人大学との交流のためのツアーを企画致しましたが、万一の事故時の補償金額面で、SA・ネット大阪が十分対応できないことから理事会で異議が出た為、やむなく中止致しました。
- 5) 当面は助成金なしでは活動が厳しい為、来期の企画立案に際しては、大阪府看護協会と連携した企画及びWAM(独立行政法人・福祉医療機構)の助成金をベースにした企画を進めます。



[ 国際障害者交流センター ]  
「バリアフリープラザ」

## お茶の間科学「サイエンスカフェ交野」の取り組み

NPO シルバーアドバイザー・ネット大阪 理事：田中暁子

お茶の間科学「サイエンスカフェ交野」とは、昨年10月、サイエンス  
コミュニケーションをしたいとの思いで、仲間達と立ち上げたグループです。



私は、3月11日に勃発した東日本の未曾有の大震災により、否応なしに自然の猛威の前の人間の力の無力さを再認識させられた思いでした。そこで、私達一般人も科学についてある程度の知識を持ち、福島原発の災害でクローズアップされた「放射線・放射能」についても理解し、自分なりに何らかの方向性を見出す必要があるのではないかと思うようになった。その思いを『サイエンスカフェ』についての考察」と題して纏めた。

先ず、現役時代は化学の研究者をしておられたIさんに、「サイエンスカフェ交野」の立ち上げについて相談した。Iさんは、以前から「お茶の間科学」として科学を身近に話し合う機会を持ちたいと思っていたとのことで、2人はSCKの設立に向けて始動し始めた。Iさんは、自分の考えを『サイエンスカフェ』について」と題して纏められた。

最初にIさんと私は、交野市在住の50歳代の友人夫妻に相談した。2人からは、現役で働いているので中心にはなれないが、協力したいとのコメントを貰った。

次に、日本語支援ボランティアグループの仲間達に、SCKのグループを立ち上げたいとの思いを話した。そこでは、30歳代の若いお母さん達が大変熱心に話題の「放射線・放射能」に関しての思いを語られ、是非SCKを立ち上げようということになった。その後も数名の友人達にも声かけした結果、男女11名が立ち上げメンバーとなった。

私達は、手探り状態の中での取り組みを始めた。【※SCK＝「サイエンスカフェ交野」略】

### ◇お茶の間科学「サイエンスカフェ交野」会則/月1回開催の「例会」への取り組み

- |                          |                      |
|--------------------------|----------------------|
| *本部：会長宅に設置               | *日程：第3土曜日午前中約2時間(原則) |
| *役員：会長(副会長)・会計・書記・広報等    | *実践：計画・準備・運営・記録・宣伝   |
| *年会費：1人…500円             | *開催時の役割分担：事前打ち合わせにて  |
| *参加費：1人…200円(会員)300円(一般) | *内容：1話題につき、約3回の取り組み  |

### ◇お茶の間科学「サイエンスカフェ交野」現況

- \*メンバー構成：30～40歳代—男性2名/女性2名    50歳代—男性1名/女性3名  
60歳代—男性2名/女性1名    70歳代—男性1名/女性3名    計15名(2012.01.21)
- \*開催した講座の概要

第1回SCK:2011.11.19(土)

「放射線に関する基礎知識」

第2回SCK:2011.12.17(土)

「放射線に関する様々な事例」

第3回SCK:2012.01.21(土)

「放射線に関する各自の感想」



全員で討議中



プレゼン中の筆者

2月からの取り組みは、「遺伝子組み換え作物について」を予定しています。是まで以上に、実り多い取り組みにしたいと思う今日この頃です。

以上

## 平成24年度「年会費」納入のご依頼

平素は、シルバーアドバイザー・ネット大阪に格別のご理解とご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

平成24年度(平成24年4月1日～平成25年3月31日)につきましても継続して入会いただきたく会費の納入をお願いいたします。

同封の振込用紙にて、下記宛お振込みいただきますようお願い申し上げます。

記

- ◇正会員 会費年額 3,000円      ◇賛助会員 会費年額 1,000円  
◇振込先 ゆうちょ銀行 口座記号番号 00920-0-272384  
\*振込料は、恐縮ですがご負担をお願いいたします。

## お 知 ら せ

### — 第6期定時総会 開催のご案内 —

- 開催日時 平成24年5月26日(土) 13:30～14:30
- 予定会場 大阪市教育会館(アネックス パル法円坂) 多目的ルーム3号  
大阪府中央区法円坂1-1-35 TEL:06-6943-5021
- 講演会 総会終了後に講演会の開催予定(15:00～16:30)

(\*) 上記の日程で開催いたしますので、予めご予約をお願いいたします。

### 【編集後記】

「SA・ネット大阪ニュース」も、お蔭さまで今回第13号の発行を迎えました。第13号は、第5回アクティブシニアフェア開催への参加状況報告と各事業部の「平成23年度下半期」の活動報告(「10月～3月」)の内容でお届けいたしました。又、田中理事から、「お茶の間科学の取り組み」のご寄稿をいただきました。尚、会員の皆様より本紙への積極的な「投稿」を心からお待ち申し上げます。次号は第6期定時総会報告の内容で、6月下旬に発行の予定です。(広報部:T.N)